

西東京消防署消防活動現況

1 災害状況（平成29年7月19日現在）

西東京消防署部隊出場件数 (管轄外含む。)		西東京消防署火災件数 (前年同日対比)		
火災	118件	件数	28件	+12件
危険排除	40件	焼損床面積	186㎡	+174㎡
救助活動	224件	焼損表面積	47㎡	+44㎡
緊急確認	28件	死者	0人	0人
PA連携	1122件	傷者	2人	-5人

※ 火災による死者ゼロ1000日達成

平成26年10月17日 覚知15時38分で発生した火災による焼死者発生火災から平成29年7月14日（金）午前0時をもって火災による死者ゼロ1000日を達成いたしました。この達成は一つの節目として今後も、西東京市民の安全・安心のために防火防災業務に傾注して参ります。

2 救急活動状況について

救急出場件数は、東京消防庁管内でも年々増加しています。当署においても平成28年中の救急出場件数は、9983件と1万件に迫る出場件数でした。救急車をタクシー代わりに使ったり、休日等で何処の病院へ行ったらいいのかが分からない為に救急要請する方も多く、119番を迷った場合の対策として設置された「救急相談センター」（#7119）を市民の方々に広く認知してもらうために、西東京市薬剤師会の協力を得て薬袋に印刷をしてもらうほか、西東京市の協力のもと市内を走行するコミュニティバス車内に広報ステッカーを掲示するなど、救急車の適正利用に対する広報普及に努めました。



3 消防団活動状況

(1) 署隊と消防団隊が連携した解体建物を活用した破壊訓練

平成29年6月中旬、管内の解体建物を活用した破壊訓練を実施しました。この訓練は、震災時等の大規模災害が発生した場合、消防署に配置されている資器材を迅速・的確に取扱い有効的な活動が発揮できるように技術の練磨を図りました。

また、本訓練には、西東京市消防団隊の消防団長・副団長をはじめ12個分団の全ての消防団隊が訓練に参加し、保有している破壊資器材の活用要領及び消防署隊の破壊器具（削岩機・チェーンソー）の取扱いについても習熟を図りました。



削岩機活動状況



チェーンソー活動状況



ストライカー（切断）状況



ストライカー（破砕）状況

(2) 水災害の対応能力の向上

平成29年7月中旬に、水災害発生時の災害対応能力の向上を図るため、署隊本部と消防団本部との水災凶上連携訓練を実施しました。本訓練は、急激に積乱雲が発達し多摩北部地区に局地的な豪雨が発生したことにより、西東京市内に多数の水災害が発生したとの想定に基づき、水災害現場及び過去の水災害発生危険箇所から被害予測を立てた部隊運用を実施、署隊本部から消防団本部への応援要請に対する出場団隊出場命令及び出場団隊との無線交信要領の実戦的な消防団本部運営訓練を実施しました。

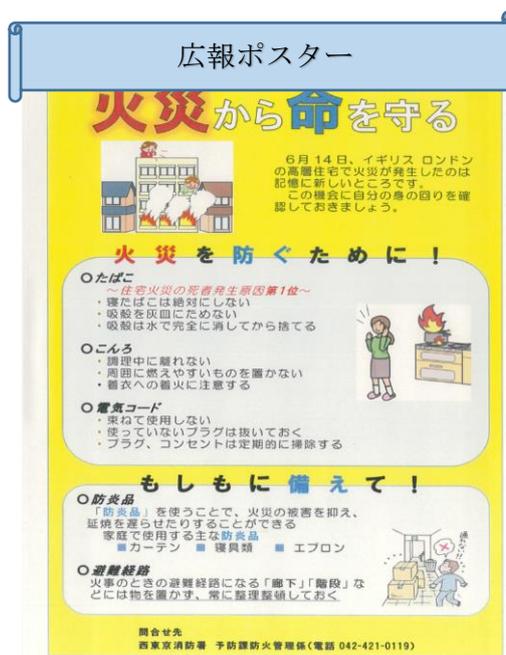


消防団本部運営訓練状況

消防団本部部隊運用状況

4 特異災害に対する市民広報について

平成29年6月14日のイギリス ロンドンの高層マンション火災を踏まえ、西東京消防署では、管内にある15階以上の対象物に対して、万が一のための注意喚起広報ポスターを作成し、建物内に掲示してもらい住人に対する広報活動を行いました。



5 今後の行事予定

- (1) 第67回はたらく消防の写生会

について

ア 作品展

7月22日(土) 午前10時00分から午後5時00分まで

7月23日(日) 午前10時00分から午後4時00分まで

南町スポーツ・文化交流センターきらっと 多目的ホール

西東京市南町五丁目6番5号

イ 表彰式

10月14日(土) 10時00分から12時00分まで

学校法人日本文華学園 文華女子中学校・高等学校 文の華記念館

西東京市西原町四丁目5番85号

【来賓予定】

市長、教育長、危機管理室長、教育企画課長、都議、消防団長、関係団体各会長、学校長等、受賞者及び保護者

(2) 西東京救命講習市民大会の開催について

ア 開催日時：平成29年9月9日(土) 9時00分から12時00分まで

イ 開催場所：西東京市役所 保谷庁舎防災センター 6階講座室

ウ 募集人員：60名程度

エ 実施内容：普通救命講習・救急活動実演・救急業務

(救急相談センター#7119、東京版救急受診ガイドを含む)に関するポスター等資料展示と広報

オ 募集要領：受講者募集に際し、7月3日に西東京消防署ホームページ、8月1日発行の西東京市報に募集案内を掲載予定です。